

いのちと暮らしまもる政治に転換を

#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ！ 10・20総行動



集会後には、3年ぶりに日比谷野外音楽堂から東京駅に向かってパレードを実施しました。「#いのちまもる」と書かれたスティックバルーンやそれぞれの思いを書いたプラカード、横断幕、ゲートフラッグなどを手に、サウンドカーのリズムに合わせて、安全・安心の医療・介護の実現や医療・介護従事者の増員・賃上げの必要性などを訴えました。

元気に銀座パレード

集会後には、3年ぶりに日比谷野外音楽堂から東京駅に向かってパレードを実施しました。「#いのちまもる」と書かれたスティックバルーンやそれぞれの思いを書いたプラカード、横断幕、ゲートフラッグなどを手に、サウンドカーのリズムに合わせて、安全・安心の医療・介護の実現や医療・介護従事者の増員・賃上げの必要性などを訴えました。

医療・社会保障立て直し求め厚労副大臣に要請

「10・20総行動実行委員会」は、集会後に羽生田俊厚労副大臣に、集会アピールを手渡し、医療・社会保障の充実強化などを求め要請しました。羽生田氏は、「現場で人手が不足しているという認識はある」、コロナ禍の反省を踏まえて「医療機関などをどう守るかという視点で考えたい」等と応じました。



要請行動に参加した佐々木悦子中央執行委員長(写真右から2番目)

「10・20総行動」は、国民のいのちと暮らしを守る政府の責任を追及し、政府に対する怒りを国民にアピールする場として開催しました。コロナ禍での集会開催ということで感染対策に留意し、会場参加が困難な組織については、動画配信の視聴を呼び掛け、総行動として成功をめざしました。

集会の様子はこちらから約1カ月間、視聴可能です。



集会の様子は
こちらから約
1カ月間、視
聴可能です。

今年の「#いのちまもる10・20総行動」は、国民のいのちと暮らしを守る政府の責任を追及し、政府に対する怒りを国民にアピールする場として開催しました。コロナ禍での集会開催ということで感染対策に留意し、会場参加が困難な組織については、動画配信の視聴を呼び掛け、総行動として成功をめざしました。



また、集会成功にむけて、「私怒っています」「もう我慢できません」の「怒りのメッセージボード」の取り組みも提起。全国各地からメッセージボードを掲げた写真が数多く寄せられました。写真はホームページ「#いのちまもる」

10月20日、東京・日比谷野外音楽堂で、「#いのちまもる10・20総行動」が開催されました。医療・社会保障を立て直せ！10・20総行動」が開催されました。日比谷野外音楽堂には約600人が集まり、オンラインでは約500カ所視聴が行われました。

総行動」のアカウント等で紹介しました。

集会には、国会議員や著名人、研究者、医療・介護・福祉の関係団体はじめ、132通の賛同メッセージが寄せられ、当日は、日本医師会・日本歯科医師会のメッセージを紹介しました。



各地から寄せられた写真

政府に対する怒り 国民にアピール

脈路

「脈路」のネタを考えていて、そもそもこの紙面はどれくらいの人に読まれて、いるのだろうか、労組役員に「なるほど！」と思ってもらえるには……、等と悩んでいて締切りを過ぎてしまった▼急かされても今日も会議が二つ。日中に女性部、そして夜には教宣部。ほぼほぼオンライン。直接対面できないものどかしさを感じながら、紙面でどういう情報を組合員に伝えられるかを率直に議論した▼紙媒体の情報伝達は、早晩のうちに廃れていくだろう。かと言ってホームページなどネット上の情報は、一人ひとりの知識意欲なしにはアクセスされない。SNS活用も謳われているし、諸外国では、それらの情報で、大規模なデモも起きている。日本でもSNSを通じて、リアルに集う人たちも生まれているが、世界での動きと比べると断然、規模が違う▼日本では「出る杭は打たれる」的なネガティブな「同調圧力」が強いし、若い人たちは、街頭宣伝、デモやストライキを身近に見てきた世代でないのは確かで、ハードルも高い▼しかし、いまようやくリアルに集まれる機会が増え、改めて「変えたい」と思う仲間たちとの繋がりが出来始めている。先日、半分リアルで集まった看護師集会で林千冬先生が言った「語り合い、語り継ぎ、語り広げる」ことが一番の近道だと実感し実践したい。が、機関紙はどうするか答えはまだ。



岩手医大教職組



愛知県医労連



岡山医療生協
労組

- ★個人共済・年間拡大
- 1位 岩手医大教職組
 - 2位 岡山医療生協労組
 - 3位 全医労豊橋七支部

- ★個人共済・年間拡大率
- 1位 みなと医協労組
 - 2位 飯塚市立病院労組
 - 3位 全医労豊橋七支部

表彰

集会では、33期表彰単組上位3位が紹介されました。会場に参加した3単組が代表して、佐々木中央執行委員長より賞状を受け取りました。

「来年もまたみんなで集まって開催できたらいいな」 3年振りにリアルで交流

2022年度共済推進全国交流集会



10月14日、22秋・共済推進全国交流集会が東京都内で開催されました。154単組支部から204人（会場61人、オンライン143人）が参加し、特別報告や実務研修、経験交流会を通し、進んだ経験や教訓などを大いに学び、共有しました。

3年ぶりの会場参加で

新型コロナウイルス感染拡大のはじまりから、1年目は集会中止、2年目は完全オンライン

集会、今回はオンライン併用ですが、久しぶりに顔を合わせた交流集会となりました。開会挨拶を行った佐々木悦子中央執行委員長は、「仲間同士の助け合い、少ない掛け金で充実した保障である医労連共済を組合員に提供すること、組合員の『もしも』を守ると同時に、可処分所得を増やす『第2の賃上げ』となることに確信を持ち、共済推進の運動をすすめよう」と呼びかけました。

コロナ禍での拡大推進に
次に、内田博之共済事業局長が基調報告を行い、33期の事業報告とともに、加入推進にむけた取り組みを提起しました。内田局長は冒頭、新型コロナウイルスの給付申請がかつてないほどの規模となっていることを紹介し、コロナ禍での給

★個人共済・連続拡大
愛知県医労連
★火災共済・年間拡大数
1位 山梨民医労
1位 愛知県医労連
1位 石川民医労
★自動車共済・年間拡大数
1位 岡山医療生協労組
2位 新潟民医連労組
3位 沖縄医療生協労組

特別報告

☆新歓キャンペーン
伊東市民病院労組

木下 建太朗さん

「新人は、毎年ほぼ9割拡大、組合拡大にとって新歓は負けない闘い」とし、新歓では、「音楽を流すなど、楽しい雰囲気、難しい話をしないなど工夫をつけている」と述べました。2カ月間無料キャンペーンでは、「3型、7型十医療共済16口、7型の3択を提示。日本人は3択で真ん中を選ぶ傾向がある。7型だけだと、継続するか辞めるかの2択だが、型下げでも継続してもらえるチャンスがある」と、工夫を紹介しました。

☆共済説明会
北海道勤医労

三上 友衛さん

「医労連共済の助成を活用し、説明会を旺盛に行った結果、加入者が倍化。パート職員の組織一律共済を開始で、共済の知名度が上がった」とコロナ前の取り組みを紹介。「コロナ禍で加入まで結びつかない説明会の難しさはある。少人数でも楽しい説明会をつくる。短時間説明し、詳しく聞きたい人はその後、残ってもらう。そこをどう増やすかが肝」今後、給付事例など、単純に良いものだと思える説明を心掛けたい」と話しました。

☆毎月拡大
岩手医大教職組

田村 巧さん

「共済の拡大は、組合加入と一緒に取り組む」とし、「新歓のほか、毎回中途加入者にも組合加入を働きかけ、組合加入者には、交付金を活



内田博之
共済事業局長

付の対応や加入推進での全国の奮闘に敬意を表しました。一方で、給付金が幅広く届けられ注目が寄せられる状況になっていると述べ、「コロナのピンチをチャンスに変えよう」と加入推進・組合拡大

私たちが、こうして増やしています

また、共済推進の具体的な取り組みとして、①担当者を決める、②役員がまず加入する、③毎回の会議で共済推進をとりあげる、④行動を具体化する、とし、共済説明会をはじめ、組織一律加入、新歓での共済プレゼントや共済アンケートを旺盛に取り組み、医労連共済を広げようと呼びかけました。



☆共済推進の意思統一
愛知県医労連

矢野 彩子さん

共済推進・組織拡大の意思統一として、春に2回と秋に組織拡大と共済推進に関する会議を開催し、経験交流を行っていることを紹介。「医労連共済は労働組合の宝物。医労連共済の取り組みが、組合員を増やし、労働組合を辞めない。労組の財政強化に繋がります。共済の魅力を組合員の喜びも増える」と、意思統一をし、奮闘する愛知県医労連に加盟する単組の奮闘の様子

●コロナ給付書類を渡す際、県内の保健所連絡先を記載した紙、QRコードを一緒に渡していた。
●自分でカスタマイズできるジェットストリームのボールペン（太さ、色、名入りなど）を2本、新人さんにプレゼントは好評！
●職場の先輩の勧めの方が加入率が上がる。
●新歓時の組合説明・共済説明は長々せずサラッとした方が加入率が上がる。
●すでに加入している保険を解約するのはではなく、共済をプラスαとして考えてもらうと加入してもらいやすい。
●説明会時に、共済で給付金をもらった人の紹介しました。

いろいろ工夫しています！

話をすると（給付事例を挙げると）、みんな食いつく。
●今の新人さんは堅実的、NISAやIDECOの質問あり。その時は年金共済を勧めている。
●「説明会やるとクオカード」のキャンペーンを利用して各職場から申し込みを募集する。
●組合説明会が4月にあるが、皆が共済の説明が出来るように本部から講師が来て学習会を開催してくれる。
●毎年継続の書類が届いたら一人一人におすめの型式や給付の場合のお知らせなどを作って配布している。
●新歓のオリエンテーションの際にアンケート

集会後の感想

特別報告を聞いて参加者からは、「岩手医大の掲示板に時計を貼る、伊東市民の3択プレゼントともマネしたい」「伊東市民の説明会を簡単にする、ぐみあい」で説明する、守ります」が怖がられる、が参考になりました」

「発表した単組、それぞれに工夫されていて凄いなと思いました。厳しい状況のなか、苦労されていますがへこたれない精神には、感心します！見習わなければならない！」さっそく次年度の新人さん



経験交流の感想では、「日々の共済活動の中での悩みや工夫をみんなと共有できてよかった」集全体を通しては、初参加者からは「共済の取り組みや加入のメリット等も含めて理解が深まった」「他の方々の意見等を聞くことができ、とても参考になりました」という感想がありました。リアル参加者からは「久しぶりにリアルに参加できてよかった」「来年もまたみんなで集まって開催できることを願っています」との感想が寄せられました。

10月16日、民医連・生協労組全国交流集会在オンラインで開催されました。この集会には、36都道府県から58単組支部87人が参加し、各地の取り組みや教訓を学び、職場要求の実現と産別運動に全力をあげていく決意を固めあいました。

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

産別結集強化し22秋闘奮闘しよう！

活動が活性化し、団交の参加者が増えている状況が生まれていると述べました。

次に、神奈川県医労連の柏木哲也書記長が、厚労省要請行動や記者会見などを関東地方協議会が共同で行った取り組みを紹介し、産別組織からできる「横断的な取り組み」で社会を変えようと呼びかけました。

「参加者の感想」生活保護基準が最低賃金や年金にも関わる事と教わり、改めて人権尊重に大切な問題だと理解した。最賃問題と合わせて労組の中で学び広げていきたい。

「組合活動をする原動力は何なのか、常に自分に問いかけながら、組合活動に対する理解や協力を得られるにはどうするか、まわりの仲間と一緒にがんばっていききたい。」

「組合活動をする原動力は何なのか、常に自分に問いかけながら、組合活動に対する理解や協力を得られるにはどうするか、まわりの仲間と一緒にがんばっていききたい。」

「組合活動をする原動力は何なのか、常に自分に問いかけながら、組合活動に対する理解や協力を得られるにはどうするか、まわりの仲間と一緒にがんばっていききたい。」

全国組合協議会「賃金引き上げはまさに今！」経営者要請

日本医労連・全国組合協議会は、秋の経営者要請行動の第1弾として、10月7日に国立病院機構、国家公務員共済組合連合会、労働者健康安全機構に対して、8人が要請を行いました。

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

冒頭、要請書を手渡した日本医労連川上真理書記次長は、「このコロナ禍で、公立・公的病院の役割の重要性というは、多くの国民が身をもって感じたところであり、その充実・強化は当たり前の要求であると同時に、そこで働く労働者の要求も冤気迫るものとなっております、いのちのちまもる役割にみあった処遇改善を」

「言いたい劇場」

小菅りや子



和歌山県医労連

日本医労連22年度3組合目

新組合 結成

南紀園労働組合

「職場の労働環境良くしたい！」



組合結成のきっかけは、看護師の送迎業務について、和歌山県地評を通じて医労連に相談が入ったことです。その後、地元の紀南労協の協力もあり、何度も相談を重ねました。その中で看護の職場の問題だけでなく、介護の職場もあまりにも厳しいことが明確になりました。そこで「これは自分たちの労働組合を作らなければならない」と思い、労働組合の結成に至りました。大会では、「南紀園で働くすべての人が、同じように働きやすく風通しの良い職場になってほしい」という願いは



一緒に、その願いを叶えるために、組合は絶対に必要だと思っています」と、南紀園労働組合の委員長が組合結成への思いを述べました。

【パズル解答】1787号の答えは「すいりどらま」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。
【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を11/17(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: n-ask@irouren.or.jp



推進月間です！仲間を大きく増やそう

秋の組織拡大・共済推進月間も中盤戦となりました。新人にむけた新歓と同様に、毎月拡大とりわけ秋の取り組みは、組織や共済を大きくするために不可欠な取り組みです。年末一時金の取り組みで労働組合に耳目が集まる絶好の時期です。組織拡大・共済推進も重ね合わせて、仲間を増やしていきましょう。

秋の共済推進には、何と言っても共済説明会が効果抜群です。医労連共済全体でも、共済説明会の開催しよう

医労連共済だより

秋の月間も中盤戦

秋の組織拡大・共済推進月間も中盤戦となりました。新人にむけた新歓と同様に、毎月拡大とりわけ秋の取り組みは、組織や共済を大きくするために不可欠な取り組みです。年末一時金の取り組みで労働組合に耳目が集まる絶好の時期です。組織拡大・共済推進も重ね合わせて、仲間を増やしていきましょう。

秋の共済推進には、何と言っても共済説明会が効果抜群です。医労連共済全体でも、共済説明会の開催しよう

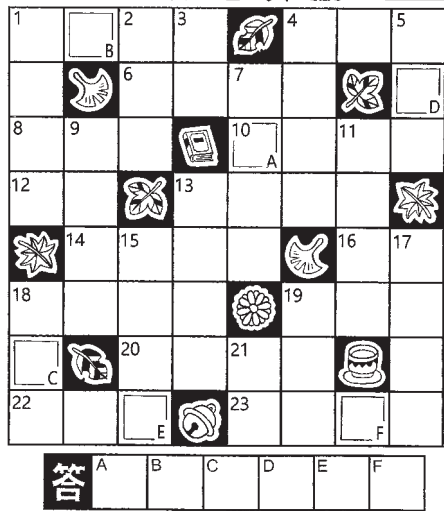
秋の共済推進には、何と言っても共済説明会が効果抜群です。医労連共済全体でも、共済説明会の開催しよう

■ヨコのカギ

- 「金糸雀」と書く小鳥
- CO₂のCとは？
- β-カロテンを豊富に含む緑黄色野菜
- 厳しく容赦のないこと
- 北斗七星といえば、この形
- 火事場集まる……馬
- 健康です。……息災
- 学問も見識もある……者の意見を聞く
- その道に詳しい人
- 飲酒の量を減らします
- 「冬の稲妻」「チャンピオン」がヒット曲
- ……もできない大混雑
- ゆがんでいます
- 新聞やテレビなどのこと

ザククロスワード

出題▶モロゾミ勝



- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？
- タテのカギ
- ……感激雨あられ
 - 2027年に開業できるか？……中央新幹線
 - まんじゅうやぎょうざの詰め物
 - ことわざ。長所は……飾りけのない……な人柄が好かれる理由です
 - 地面が振動して音がすること
 - 絵画や彫刻など
 - 引越しの古風な表現
 - においがいいこと
 - 草木も眠る……時
 - 濃くない墨の色
 - 親……と子……が同居する……住宅
 - ……に用心して戸締りを厳重に
 - 上司に……をする人

医療の眼

コロナ禍で離職者が増加

コロナ禍によって、医療従事者、特に看護職員の過酷な働き方が注目されるようになりました。自らが感染源とならないよう自粛生活を続け、逼迫した医療現場で患者のいのちを守るため奮闘する看護職員を、多くのメディアが連日報道しました。看護職員不足も大きく報道されましたが、この3年、現場では看護職員は増えず、職場の過酷さは改善されていません。

やりがいのある看護を実現しよう

「やりたい看護」を胸に看護現場に入ります。しかし、現場は常に人員不足であり、更にはコロナで業務過多となり「診療の補助」や業務をこなすのに精いっぱい、で、「やりたい看護」を実践できないのが実態です。

9月から「いのちまもるキャラバン行動」がスタートしました。医師・看護師をはじめとする医療従事者・介護従事者の大幅増員・夜勤改善などを求める新しい署名への取り組みもスタートしています。組合員ひとりの筆を目標に3年間継続して取り組みます。大幅増員・夜勤改善の実現に向け、署名に旺盛に取り組みとともに、2022秋の職場要求書に「大幅増員・夜勤改善」の要求を盛り込み提出しましょう。そして自治体要請や地方議会の要請などには「届けよう現場の声」を活用して職場の生の声を紹介し、大幅増員の必要性を訴えましょう。

す。志を持った看護職員の思いを犠牲にして、今の医療は成り立っているといっても過言ではありません。

「やりたい看護」の実現のために